



しおかぜ



道院修練再開

新型コロナウイルス感染症の第6波により
2月14日より塩竈道院・仙台杜都道院の
修練を休止にしておりますが、3月14日
より再開しました。

現在、ピーク時より半減はしているものの
感染者数の減少は緩やかです。国内の状況
や他団体等の状況をみますと、どれも緩



2022.01.16 塩竈道院・仙台杜都道院 新春法会

傾向です。しかし、今後もより一層感染防
止に努め修練を行いますので、ご協力をお
願い致します。

更新をお願いします

年度替わりの時期となりました。個人会
員の更新をお願い致します。更新が出来な
い方については道院長が代行致しますので
連絡をお願い致します。

本山公認教区研修会を開催します

4月10日(日)に金剛禅総本山少林寺公
認オンライン教区講習会が開催されます。
この講習会は、本山とオンラインで結び
開催するもので、宮城県教区として塩竈道
院の専有道場を会場に開催するものです。
本山公認講習会ですので受講すれば、本山
での講習会を受講したのと同じ扱いになり
ます。特別昇格考試(四段以上)に必要な
法階の講義も入っていますので是非、受講
をお願い致します。

大澤隆管長 縁起

あきらめる

3月に入りました。
まもなく2021年度



が終わります。新たな年度を迎えるにあた
り、今月は「あきらめる」ということを意識
して取り組んでみてはいかがでしょうか。

あきらめるとは、断念する、途中で放り
出してしまうなど、どちらかというとなガ
ティブな意味合いで使われることの多い言
葉ですが、もとは仏教用語で、「物事の真理
や真実を明らかにする」というところから
来ています。迷う心があつた時に、その迷い
がどこからきているのか、真実を明らかにし



2022.01.16 新春法会前の昇級試験

今後の予定

- ◎ 4月 3日(日) 9:30~15:00 昇格考試(青葉体育館)
- ◎ 4月10日(日) 9:30~16:00 本山認定教区オンライン研究会(塩竈道院専有道場)
- ◎ 4月17日(日) 9:00~15:00 宮城武専(青葉体育館)
- ◎ 5月 1日(日) 9:00~15:00 仙台市大会(青葉体育館)

て執着を手放すとき、目の前にある霧が晴れ、自分が今何をなすべきかがはっきりしてきます。このように「諦め」あきらめ」とは、物事をプラスに転じさせる作用を持っています。

人生は選択の連続とも言われます。その選択がうまくいくかどうかは、その過程において、真理を明らかにしたかどうかです。明らかにしないまま、強引にやり通そうとすれば、無理な力が加わり、失敗や後悔が待ち受けています。逆に智慧の目を持って明らかにし、真実や真理を見ることができるようになれば、迷うことなくまっすぐに進むことができ、幸せや成功に近づくことができます。

金剛禅の修行、あるいは学業や仕事でも結構です。何のために自分はそれに取り組んでいるのか、自分に必要なことは何なのか、明らかにしてみてください。目的がはつきりしないまま進めば、うまくいかない時に、都合の良い理由をつけて放棄する「あきらめ」をしてしまいます。修行目的、働く意味、学ぶ意味、これらを明らかにできれば、今は何をなすべきか、どのように人間関係を築けばよいのか、将来に向かってどのような種蒔きをすればよいかが自ずと見えてきます。たとえ困難なことが立ちふさがってもそれを乗り越え、失敗してもすぐに立ち直ることができる力が心の内側

から湧いてきます。これが私たちの中にあるダーマの霊性を発現させることにもつながります。

春はもうすぐそこです。新年度、あなたはどのような芽を出したいですか。そのために今月は意識して「あきらめる」ことに取り組んでいきませんか。目の前にある迷いを振り払い、春の暖かい陽光のように晴れやかな気持ちで、自分の可能性を信じて進んでいきましょう。

中国古典 紹介

「二隅を守りて、いちごう 万方を遺る」ばんぼう を掲載

『淮南子』

「二隅」とは、よすみ 四隅のうちの一隅、つまりは片隅である。「万方」とは四方であり、この場合は、一隅に片寄らない大局的な判断と理解してよい。したがってこのことばの意味は、「二隅を守っていて、大局的な判断を忘れてしまう」ということになろう。リーダーたる者、こうあつてはならないということだ。

管理職の場合を考えてみよう。課長なら課長、部長なら部長として、与えられた職責をきちんと果たす。これが「二隅を守る」だ。しかし、それだけではまだ十分でない。

同じように職責を果たすにしても、全社的な視野に立って果たすことが望まれるのである。

トップについても同じことが言える。自分の会社の利益だけを追求しているようでは、失格である。自分の利益を追求するにしても、できるだけそれを社会の利益と一致させることが望まれるのだ。そうでないと、すぐに行き詰まってしまう、と警告しているのが、このことばにほかならない。



2022.01.16 新春法会前の入門式